



地域を育み、
大陸をつなぐ

Weekly



・会長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・幹事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801
 ・会報 井田 武憲 尾張旭市東大道町 原田 2570-3

・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp
 URL : http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

本日 第1962回 2011年4月22日(金) No.1853

本日のプログラム Today's Program

卓話者:伊豆原浩二君

点 鐘

演 題:「地域の公共交通の状況について」

ロータリーソング 「日も星も風も」

前回 第1961回 2011年4月15日(金) 記 録

斉 唱:「我等の生業」

来訪者:瀬戸北RC 中野 昭雄君

出席者:会員29名中23名出席 出席率79.31%

前々回補正出席率は3月25日分96.56%

会長あいさつ

山田 直樹



先週桜が満開ですとお話しましたが、さすがに今日はかなり桜吹雪で散り終えようとしています。

でも今年は桜が咲いている間に雨や強い風があまり吹かず花が長持ちしたような気がしていません。

ここしばらく東日本大震災の影響で、会長挨拶がどうしても暗くなりがちになっていたと思います。なるべく明るい話題を皆さんに提供しなければと考えています。

おとといの4月13日にガバナー分室会議室において、R12760地区職業研修派遣チーム壮行会がおこなわれ唐井幹事と一緒に出席してまいりました。ご承知のように我がクラブから大野良之君が今回の派遣チームリーダーとして参加されるので、その激励のための出席でした。今回の企画は日本において初めての事業です。

パイロット地区グローバル補助金を使用しての派遣ということで、お聞きするところ、実現までに田嶋ガバナー深谷地区財団委員長を始めとして、大変数多くの方々の努力があったというお話を聞かせていただきました。疾病予防感染予防のため技量を高めるためだけではなく、人道奉仕を行い続けていく世界的な活躍を目指すという壮大な志が根底にあるプログラムです。4月16日から1カ月アメリカテキサス州ヒューストンのメディカルセンターでそれぞれの分野のプロフェッショナルが研修を行います。そのまとめ役が大野君ということになります。責任重大です。おとといの壮行会においての大野君の英語によるスピーチは大変迫力のある素晴らしいものでした。同じクラブのものとして誇りに思います。どうか健康に十分気をつけていただいて、職務を全うしていただきたく思います。お帰りになったら、またお土産話を聞かせてください。それでは元気にいってらっしゃい。

幹事報告

- ・4/8 第2回40周年記念誌委員会 於商工会館 井田委員長以下4名出席。
- ・4/9 尾張旭市子ども会連絡協議会総会 於渋川福祉センター 山田会長出席。
- ・4/13 地区大野VTT派遣チームリーダー壮行会 於ガバナー事務所分室 大野 良之君、山田会長、唐井幹事出席。
- ・本日の会合:第3回40周年記念誌委員会
- ・例会変更のお知らせ:別紙。

雑誌月間

	4月29日(金)	5月6日(金)	5月13日(金)	5月20日(金)
例会予定	法定休日 (昭和の日)	卓話者:西尾会長以外、森副幹事、井田次期クラブ奉仕、福岡次期広報、唐井次期国際、古橋裕志次期新世代委員長 演 題:「地区協議会参加報告」	卓話者:桜井 雅博君 演 題:「広報のあり方とコンピュータの活用について」	卓話者:森プロダクション委員長 演 題:「寄付社会について」

ニコボックス

久しぶりです。お世話になります。又IMでは大変お世話になりました。不行き届きの点多かったと思いますが、ロータリーの友情で、ごようしゃ下さい。(瀬戸北RC)

中野 昭雄君
誕生日を祝っていただき、
桜井 雅博君
結婚記念日を憶い出させていただき、また祝って
いただきありがとうございます。 丹羽 敏行君

昨日、大野さんがVTT派遣チームリーダーとしてヒューストンへ向かわれます。お体気をつけていてらっしゃい。 山田 直樹君

本日、分区幹事 中野昭雄さんを例会にお迎えして。歓迎いたします。 山田 直樹君
中野昭雄君、ようこそお出でいただきました。

唐井 仁一君
大野先生明日から1ヶ月間ご苦労様です。健康には留意していただきご活躍下さい。また尾張旭RCの広報もよろしくお願いたします。唐井 仁一君
大野先生、頑張ってください。みやげ話を楽しみにしています。 加藤 清久君
明日、VVVでヒューストンに出発します。

大野 良之君
永らく休みまして失礼しました。 加藤 勇夫君
ようこそ！瀬戸北RC中野昭雄さん、勝屋先生のお話を楽しみにしています。 古橋エツ子君

本日は卓話をさせていただきます。勝屋 弘忠君
勝屋先生の卓話を期待して！ 伊豆原浩二君
加藤 清久君、西尾 輝久君、服部 右子君
谷口先生と森さんには大変お世話になっていて、
ありがとうございます。これからもよろしくお願
いたします。 丹羽 敏行君

家内の父の葬儀にお気遣いをいただきありがとうございます。 桜井 雅博君
風邪でしょうか。声が出なくなりました、困った
ことです。 森 和実君
お忙しの君 松下洋一君、松原 樹君

第3回記念誌委員会報告

日時 2011年4月15日(金) 13:40~

場所 尾張旭市商工会館 事務局

議題 1)レイアウト、その他の件
各年度の事業等を調べた。

卓 話

開発途上国の救急医療事情

---JICA派遣の経験から---

1) JICAとは

独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency: JICA) は、外務省所管の独立行政法人の一つで、ODA 実施機関の一つです。開発途上国に対して、有償、無償の資金貸し付け、技術協力、研修、緊急援助などを行っています。

平時の医療協力は、技術協力の一つで、直接医療を行うのではなく、将来自立で実施できるように現地の人に医療技術を移転することを目



的としています。

2) インドネシアでの経験 (1996年)

JICA が立ち上げたインドネシア第二の都市スラバヤ市のストモ病院救急センターで活動している長期派遣専門家の招きで短期派遣される機会がありました。現地では、当時公的な救急車制度がなく、交通事故が起こると市民が協力して病院に搬送しているということでしたが、助け合いの精神は素晴らしいと思いました。また、ICUで回診し、診断に必要なのでCT撮影を依頼したら、CT1枚の撮影費用が看護師の月給と同じとかで、撮影するかどうか議論となりました。CTやMRIの台数は世界で日本が一番多く、医師も患者も気軽にCT、MRIをとる日本は恵まれていること自覚させられました。またインドネシアは経済格差は大きく、医療費が払えず受診もしない地方の貧しい人も多いと聞き、日本の保険医療制度は誇るべきであると思われました。

3) エジプトでの経験 (1999年)

カイロ大学特殊小児病院をJICAが設立し、医師・看護師など長期派遣専門家が技術移転に尽力していました。ここでも経済格差が大きく、近代設備の大学病院がある一方、この特殊小児病院には貧しい人たちが殺到してごった返しており、貧しいが故に命を落とす子供を見て、その格差の大きさに驚きました。

ここでの経験からも、日本の医療制度も問題がないとは言えませんが、誰でもどこでも、比較低均質な医療にアクセスできる点では世界の中では優れているものであると感じました。

4) 途上国支援に働く人々

両国とも、JICA 長期派遣の方々は、日本の青年海外協力隊などとも協力して、現地に溶け込んで、現地の人々と苦勞をともにしながら、献身的に技術移転に努めていました。これらの方々にはひょっとすると日本の職業外交官や政治家より、日本に貢献しているのではないかと思いました。

<追記>

この3月の東日本大震災に当たっての、100カ国を超える国からの支援の申し出も、ひとつには海外協力に真面目に取り組んできたこれまでの多くの日本人のおかげもあると改めて感じた次第です。